

# 手嶋さん（八戸東高） 教諭 頂点

## チャンプ本「残念な『オス』という生き物」



知的書評合戦「第6回ピリオバトルin八戸」（デーリー東北新聞社、八戸学院大共催）の決勝戦が2日、八戸市のデーリー東北新聞社で開かれ、予選会を通過した青森県岩手県6人が、全世代対決を繰り広げた。来場者による投票の結果、手嶋久敦さん（同市、青森県立八戸東高教諭）が紹介した「残念な『オス』という生き物」（藤田紘一郎著、フォレスト出版）がチャンプ本に決定。準チャンプ本には天間凜鳳さん（同市、八戸聖ウルスラ学院高2年）の「スイッチを押すとき」（山田悠介著、文芸社）が選ばれた。（取材班）

ピリオバトルは、お気に入りの本を紹介し合い、読みたくなった本を出席者の投票で選ぶ書評コミュニケーションゲーム。9月29日の予選会で高校、大学、一般の3部門を通過した出場者が制限時間5分間で、お薦めしたい本について実体験や感想を交えて魅力をアピールした。

決勝戦の前には特別ゲストのフードライター白央篤司さんと関係者によるデモバトルが披露され、「あちらにいる鬼（井上荒野著、朝日新聞出版）を紹介した白央さんが圧倒的票数でチャンプ本に輝いた。

ハイレベルな戦いを制した手嶋さんは「くだけた本なので、チャンプ本に選ば